

感染症だより 1月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2021年第52週、2022年第1週～第3週(12/27-1/23)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

<二類感染症>

・結核 1件 リンパ節結核1件。年齢は20代。

<三類感染症>

・腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者1件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO103・VT2 1件、O157・VT2 1件。年齢は20代2件。推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染。

<四類感染症>

・E型肝炎 3件 患者3件。40代1件、50代1件、60代1件。

<五類感染症>

・アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

<新型インフルエンザ等感染症>

・新型コロナウイルス感染症 1562件 (疑似症・取り下げ除く暫定値)

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点	疾患名	第52週	第1週	第2週	第3週
		12/27～	1/3～	1/10～	1/17～
インフルエンザ	インフルエンザ(外来)		1		
小児科	RSウイルス感染症				
	咽頭結膜熱			2	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1
	感染性胃腸炎	23	25	64	74
	水痘		1		
	手足口病	3		7	7
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	3	1		
	ヘルパンギーナ			1	
	流行性耳下腺炎				
	不明発しん症				
	川崎病				
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	インフルエンザ(入院)				
	合計	29	28	75	84

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 3週(1/17～1/23)時点

感染性胃腸炎が増加しています。インフルエンザの流行の兆しはありません。

3. 注意すべき感染症

【梅毒】

・梅毒とは「梅毒トレポネーマ」という細菌に感染することで起こる感染症です。感染者との粘膜や皮膚の接触を伴うセックス(オーラルを含む)で感染します。年々、梅毒患者の報告数は増加しており、梅毒患者のうち、男性は20代から40代で、女性は20代で多くなっています。特に女性患者数は増加しており、2021年の東京都では男女含め2442人の新規梅毒感染者が出ています。妊娠している女性が梅毒に感染すると先天性梅毒児が生まれる可能性があります。先天性梅毒は、胎児の死亡や体の奇形など重大な影響を及ぼすため、妊娠中の検査で早期に発見し治療する必要があります。妊娠を考えている女性は事前に梅毒検査を受けましょう。

・梅毒の症状

感染して1カ月程度たつと、できもの、しこり、ただれなどが現れ、数週間で症状は消えます。

感染して3カ月程度たつと、手のひらや足の裏など、全身に発疹が現れ、数週間から数カ月で症状は消えます。

感染して数年から数十年後たつと、無症状のまま進行し、心臓や血管、神経の異常が現れる恐れがあります。

症状や発症時期には個人差があります。症状が出ないことや、症状が現れたり、自然に消えたりを繰り返すことがあります。治療しないと病気は進行します。検査は泌尿器科、皮膚科、性感染症内科等を受診ください。

文責:西多摩保健所保健対策課

【参考資料】

1)梅毒に関する Q&A 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

2)梅毒 Syphilis 東京都感染症情報センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/syphilis/>

3)梅毒とは 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

4)東京都感染症マニュアル2018 274,275ページ